

2025/2/10

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-5859

先週のマーケット動向(2月3日～2月7日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,466.0	1,472.5	1,443.3	1,447.8	▲4.9
JPY/KRW	9.4005	9.5775	9.3741	9.5483	+0.158
KOSPI	2,468.74	2,537.63	2,437.61	2,521.92	+4.55

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は下落。2月1日より米国がカナダ・メキシコ・中国へ関税賦課すると発表したことで、週初のドル/ウォンはリスク回避の動きが強まり1,466.0ウォンに上昇してオープン。しかし、翌日にかけてカナダ・メキシコへの関税賦課の1か月延期が合意されたことで過度な警戒感が後退。しかし、中国政府は米国産品の一部に報復関税を課すことが報じられ、再度ウォン安が進行する場面が見られた。5日には中国の報復関税も限定的な範囲に留まったことが好感されドル/ウォンは一段と下落。週末にかけては特段新規材料に乏しく、小動きが続いた。結局、前週末比▲4.9ウォンの1,447.8ウォンでクローズ。(韓国時間15:30)

今週の見通し

米トランプ政権は今週中に相互関税を発動させるとの計画が報じられ、再び関税を巡り世界経済の停滞懸念から新興国通貨は弱含む展開が予想される。ウォン相場においても、人民元動向などを睨みつつ、軟調地合いでの推移が想定されよう。先週末の米雇用統計は堅調な内容になったことで米雇用情勢を巡る不安は後退。今週12日には米1月CPIの発表を控え、インフレ再加速の兆しなどが確認されると米金利が再度上昇基調で推移する可能性もありその動向には注意したい。

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1440 ~ 1470	9.50 ~ 9.70	150.0 ~ 153.0

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 10日(月) 日 12月 国際収支
- 12日(水) 米 1月 CPI
- 13日(木) 米 2月 失業保険新規申請者数
- 米 1月 PPI
- 14日(金) 米 1月 小売売上高
- 米 1月 鉱工業生産
- 欧 4Q GDP 改定値
- 韓 1月 失業率

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。